

| 行事案内 | 月 日 | 行 事 名 | 場 所 | 掲載ページ |
|-----------|---|------------------------------------|--------------------------|--|
| 本 部 | 9月28日(木) | 第1回土木製図の自動化に関する シンポジウム | 東 京 | 本号本文 140 参照 |
| | 10月14日(土) | | 土 木 学 会 | 本号本文 139 " |
| | 10月20日(金) ~22日(日) | 昭 和 47 年度全国大会 | 福 岡 市 | 7月号前付9~42" |
| | 11月13日(月) ~14日(火) | | 東 京 | 本号本文 136 " |
| | 11月15日(水) | 大径P C杭設計施工指針講習会 | 東 京 | 本号本文 139 " |
| 北 海 道 支 部 | 9月29日(金) | 特別講演会 | 札 幌 市 | 本号本文 146 " |
| | 10月17日(火) ~18日(水) | 土質調査法講習会 | 札 幌 市 | 本号本文 146 " |
| 東 北 支 部 | 10月4日(水) | 見 学 会 | 宮 城 県 | 本号本文 147 " |
| | 10月6日(金) | 映 画 会 | 仙 台 市 | 本号本文 147 " |
| 関 東 支 部 | 9月21日(木) | 講 習 会 | 土 木 学 会 | 8月号本文 137 " |
| | 10月12日(木) ~13日(金) | 見 学 会 | 栃 木 県 | 本号本文 148 " |
| | 10月27日(金) | | 講演と映画の会 | 土 木 学 会 |
| 中 部 支 部 | 9月29日(金) | 第2回見学会 | 名 古 屋 市 | 本号本文 149 " |
| | 10月13日(金) | 講 演 会 | 金 沢 市 | 本号本文 149 " |
| 関 西 支 部 | 10月13日(金) ~14日(土) | 講 習 会 | 大 阪 市 | 8月号本文 139 " |
| | 10月17日(火) | | | 懇 話 会 |
| | 11月10日(金) | 講 演 会 | 同 | 本号本文 150 " |
| そ の 他 | 10月9日(月) | 講 演 会 | 東 京 | 本号本文 141 " |
| | 10月25日(水) ~27日(金) | 日米合同シンポジウム：建設計画お よび設計のシステム化と自動化 | 東 京 | 本号本文 143 " |
| | 12月4日(月) ~5日(火) | | 構造物の耐風性に関する第2回シンポジ ウム | 東 京 |
| お 知 ら せ | ■第5回「土木学会映画コンクール」作品募集 ■第9回衛生工学研究討論会講演募集 ■ヨーロッパ建設視察団の案内 ■第19回 風に関するシンポジウム講演募集 ■第9回 自然災害科学総合シンポジウム講演募集 ■第7回 土木計画学シンポジウム課題報告公募 ■第8回 岩盤力学に関するシンポジウム講演募集 ■第22回応用力学連合講演会講演募集 | | | 本号本文 139 " 本号本文 140 " 本号本文 143 " 本号本文 144 " 本号本文 144 " 本号本文 144 " 本号本文 145 " 本号本文 136 " |

支 部 所 在 地

北海道支部：郵便番号 060・札幌市南1条西2丁目・勸銀ビル5階 (電 011-251-7038)
 東北支部：郵便番号 980・仙台市二日町-18-25・丸七ビル3階 (電 0222-22-8509)
 関東支部：郵便番号 160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会総務課内 (電 03-351-4133)
 中部支部：郵便番号 450・名古屋市中村区笹島町1丁目232番地 近畿日本鉄道(株)
 鉄道総局名古屋営業局施設部庶務課内 (電 052-582-3311・内線 251)
 関西支部：郵便番号 541・大阪市東区船場中央2丁目2番地・船場センタービル4号館409号
 (電 06-271-6686)
 中国四国支部：郵便番号 730・広島市基町10番3号・自治会館内 (電 0822-21-2666)
 西部支部：郵便番号 810・福岡市中央区薬院2丁目14番21号 (電 092-78-3716)

第19回海岸工学講演会

▶ 11月13日(月)～14日(火) ◀

第19回海岸工学講演会は、次の日程により東京都において開催致しますので、多数ご参加下さるようご案内致します。なお、講演会論文集は目下編集中で、10月下旬にでき上がる予定です。

- 主 催：土木学会海岸工学委員会
 共 催：土木学会関東支部
1. 期 日：1972年11月13日(月)～14日(火)
 2. 会 場：第1会場：日消ホール（東京都港区芝西久保明舟町18）TEL(580)7052
 第2会場：発明会館ホール（東京都港区芝西久保明舟町17）TEL(502)0510
3. 参加方法：参加費無料、自由参加
 4. 講演題目：○印は講演者

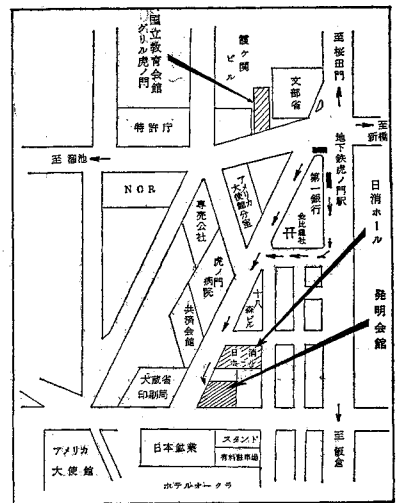
第1日：11月13日(月) 第1会場(日消ホール)

- 9.00～9.05 開会挨拶 海岸工学委員会委員長 岩 垣 雄 一
 9.05～9.20 (1) 北海道留別沿岸小平海岸における漂砂に関する若干の考察 日本大学 久宝雅史・北海道庁 ○戸巻昭三
 9.20～9.35 (2) 小川原湖海岸における漂砂について 港湾技術研究所 佐藤昭二・第二港湾建設局 河西輝夫・港湾技術研究所 ○田中則男・第一港湾建設局 入江 功
 9.35～9.50 (3) 千葉県屏風ヶ浦の海岸侵蝕について (3)——航空写真による海蝕崖の後退に関する研究 第4報—— 東京大学 堀川清司 ○砂村健夫 東海大学 斎藤 晃
- 9.50～10.05 (4) 駿河湾奥部の漂砂について
 10.05～10.25 討議 (1)～(4)
 10.25～10.35 休憩
- 10.35～10.50 (5) 皆生海岸の侵食とその対策 建設省 ○安藤 丘・佐久間良知・田村末次・藤原達雄・鳥取大学 野田英明
 10.50～11.05 (6) 大湊海岸における漂砂の沖方向分布の特性 京都大学 土屋義人 ○芝野照夫
 11.05～11.20 (7) 海浜における底質粒径分布の変化について 宮崎大学 吉高益男
 11.20～11.35 (8) 実験計画法による海浜変形の研究—高次交互作用について— 岐阜大学 増田重臣・名城大学 ○伊藤政博
 11.35～11.55 討議 (5)～(8)
 11.55～13.30 昼食休憩
- 13.30～13.45 (9) 漂砂による小港湾埋没防止対策に関する一考察 北海道大学 尾崎 晃
 13.45～14.00 (10) 海岸堤防堤脚部の洗掘に関する研究 鳥取大学 ○野田英明・岩佐敏博
 14.00～14.15 (11) 港堤付近の砂床変形について 農林省農業土木試験場 杉江正文 ○大島 登
 14.15～14.30 討議 (9)～(11)
 14.30～14.40 休憩
 14.40～14.55 (12) 離岸堤による海岸変形について——二次元の場合—— 農林省農業土木試験場 中村 充 ○大西亮一・東海大学 宮村長生
 14.55～15.10 (13) 離岸堤の沈下について 建設省土木研究所 ○豊島 修・建設省河川局 坂本忠彦
 15.10～15.25 (14) 離岸堤の配置に関する研究 水産庁漁港部 ○川口 毅・農林省農業土木試験場 杉江正文
 15.25～15.40 討議 (12)～(14)
 15.40～15.50 休憩
 15.50～16.05 (15) 海洋性レクリエーションとその環境 東京大学 堀川清司 ○佐々木民雄・五十嵐 元
 16.05～16.20 (16) リップ・カレントの発生理論 東京工業大学 ○日野幹雄・林 直樹
 16.20～16.35 (17) 河口形状と河口閉塞防止の実験例について 北海道開発局土木試験所 山口 甲・長谷川 茂・近藤幸雄
 16.35～16.50 (18) 潮汐による河口の flow pattern の変化 北海道大学 ○柏村正和・吉田静男
 16.50～17.05 (19) 石狩川河口の旧川における感潮現象 北海道大学 福島久雄・八畝 功 ○高橋 将・大谷守正
 17.05～17.30 討議 (15)～(19)

第1日：11月13日(月) 第2会場(発明会館ホール)

- 9.10～9.25 (20) 放物線分布の吹送流に対する波速の計算 運輸省港湾技術研究所 加藤 始
 9.25～9.40 (21) 風波のスペクトルの相似性について 九州大学 ○光易 恒・本多忠夫
 9.40～9.55 (22) 海洋波のクロス・スペクトル解析 九州大学 ○水野信二郎・力石国男・光易 恒
 9.55～10.10 (23) 造波機による現地不規則波浪のシミュレーションに関する研究 京都大学 岩垣雄一・木村 晃
 10.10～10.25 討議 (20)～(23)
 10.25～10.35 休憩
 10.35～10.50 (24) 風波による砕波の波高減衰と波高の確率分布 台湾成功大学 郭 金棟・郭 秀吉
 10.50～11.05 (25) 減衰域における不規則波の変形について 大阪大学 榎木 亨・運輸省第一港湾建設局 ○田端竹千穂

<会場略図>



- 11.05~11.20 (26) 不規則波の水粒子速度と水面変動との相互関係に関する研究 京都大学 岩垣雄一・酒井哲郎・石田 啓
 11.20~11.35 (27) 海岸不規則波の動特性について 北海道大学 〇浜中健一郎・佐伯 浩
 11.35~12.00 討議 (24)~(27)
 12.00~13.30 昼食休憩
 13.30~13.45 (28) 表面波による乱流境界層について 浜田徳一
 13.45~14.00 (29) 重複波による浮遊粒子の挙動について 京都大学 岩垣雄一・〇平山秀夫
 14.00~14.15 (30) 孤立波の変形に関する研究 (3) 北海道大学 〇佐伯 浩・尾崎 晃・(株)大林組 佐藤滋男
 14.15~14.30 討議 (28)~(30)
 14.30~14.40 休憩
 14.40~14.55 (31) 潜堤の効果に関する理論的研究 (2)——透過性潜堤—— 九州大学 井島武士・田淵幹彦・湯村やす
 14.55~15.10 (32) 遊水部をもつ直立消波防波堤と護岸 九州大学 井島武士・〇奥田英明・湯村やす・坂井久雄
 15.10~15.25 (33) 透過性防波構造物の水理特性 (第3報) 室蘭工業大学 〇近藤俊郎・藤間 聡・電源開発(株) 浅野潤一
 15.25~15.40 (34) 透過性構造物による波の変形について 大阪大学 植木 亨・〇岩田好一郎
 15.40~16.00 討議 (31)~(34)
 16.00~16.10 休憩
 16.10~16.25 (35) Crenellated Breakwater の伝達波 日本港湾コンサルタント 〇高 隆二・木村 弘
 16.25~16.40 (36) 海岸堤防の消波工の規模と消波効果 建設省土木研究所 〇富永正照・建設省中部地方建設局 九津見生哲
 16.40~16.55 (37) エアカーテンによる消波機構について 農林省農業土木試験場 〇中村 充・農林省農地局 佐々木泰雄
 農林省農業土木試験場 大西亮一・東海大学 法貴貞志郎
- 16.55~17.10 討議 (35)~(37)

第2日：11月14日(火)第1会場(日消ホール)

- 9.00~9.15 (38) 防波堤開口部における波のエネルギー損失に関する実験 京都大学 岩垣雄一・〇村上仁士
 9.15~9.30 (39) 湧水振動問題における開口部の境界条件について 東京大学 堀川清司・〇西村仁嗣
 9.30~9.45 (40) 高知港模型における長周期波の特性について 京都大学 中村重久・土屋義人
 9.45~10.00 (41) 清水港の振動特性 理化学研究所 宇野木早苗・東海大学 斎藤 晃・〇小菅 晋
 10.00~10.20 討議 (38)~(41)
 10.20~10.30 休憩
 10.30~10.45 (42) タイダル・ベースンにおける乱れと拡散 東京工業大学 日野幹雄・〇高須修二
 10.45~11.00 (43) 沿岸における湧水の分散の法則性 東京大学 西村 隆・平泉 泰・熊谷幹郎
 11.00~11.15 (44) 渦液浮上ブルームの濃度の拡散 中央大学 林 泰造・東京都建設局 〇土屋十園・中央大学 伊藤正樹
 11.15~11.30 (45) 温度密度流による拡散の数値解法 運輸省第二港湾建設局 堀口孝男・〇平出友信・運輸省第四港湾建設局 川上善久
 11.30~11.50 討議 (42)~(45)
 11.50~13.00 昼食休憩
 13.00~13.15 (46) 非定常拡散方程式の数値計算方法 建設省土木研究所 村上 健
 13.15~13.30 (47) 非保存系物質拡散の数値解法について 運輸省第二港湾建設局 堀口孝男
 13.30~13.45 (48) 潮汐水理模型による拡散予測 電力中央研究所・和田 明・片野尚明・〇加藤正進
 13.45~14.00 討議 (46)~(48)
 14.00~14.10 休憩
 14.10~14.25 (49) 越波量に及ぼす堤防前面地形の影響 関西大学 〇井上雅夫・菊岡 敏
 14.25~14.40 (50) 越波の飛散分布について 中部工業大学 高田 彰
 14.40~14.55 (51) 防波護岸の越波に関する現地観測 (第1報) 運輸省第一港湾建設局 西村一男・〇入江 功
 建設省土木研究所 富永正照・橋本 宏
 14.55~15.10 (52) 不規則波の海岸堤防へのうちあげ
 15.10~15.25 (53) 複合断面における波の打上げに関する研究 農林省農業土木試験場 中村 充・農林省農地局 〇佐々木泰雄・東海大学 山田謙二
 15.25~15.40 (54) 埋立地造成に伴う打上げ高、沿岸流の変化 徳島大学 三井 宏・筒井茂明・亀川和正
 15.40~15.55 (55) 水面附近をしゃ蔽した場合の波の打上げ高に関する研究 日本大学 久宝雅史・〇竹沢三雄・飛鳥建設(株) 中川善雄
 15.55~16.30 討議 (49)~(55)
 16.30~17.30 第13回国際海岸工学会議報告 海岸工学会委員会委員長 岩垣雄一
 17.30~17.35 閉会挨拶 海岸工学会委員会委員長 岩垣雄一

第2日：11月14日(火)第2会場(発明会館ホール)

- 9.00~9.15 (56) 波向線交差領域での波の屈折-数値波動解析法への応用 (2)一 運輸省港湾技術研究所 伊藤善行・〇谷本勝利
 9.15~9.30 (57) 護岸に沿う走り波の研究 北野建設(株) 吉沢 正
 9.30~9.45 (58) 不規則な海の波の防波堤による回折の計算 運輸省港湾技術研究所 永井康平
 9.45~10.00 (59) 防波堤屈曲部付近の波高、波圧分布 北海道開発局土木試験所 鴻上雄三・北海道開発局 藤木信之
 北海道開発局土木試験所 〇堤 敏郎・上原泰正
 10.00~10.20 討議 (56)~(59)
 10.20~10.30 休憩
 10.30~10.45 (60) 高基混成堤直立部の期待滑動量について 東京大学 堀川清司・日本テトラポッド(株) 〇小沢保臣・運輸省港湾技術研究所 高橋邦夫
 10.45~11.00 (61) 異常気象による防波堤の滑動について 運輸省第二港湾建設局 原口好郎・運輸省港湾局 加藤勝則
 運輸省第二港湾建設局 〇山下生比古・藤森研一・近藤功一

- 11.00~11.15 (62) 透過性防波堤背後の物揚場作用する透過波の波力
茨城県 渡辺 啓 日本テトラポッド(株) 大島 実・〇野口雄二
- 11.15~11.30 (63) 透過層による波力の減衰について
大阪工業大学 〇久保弘一・井田保夫
- 11.30~11.45 (64) 風と波の作用を同時に受ける海洋構造物の基礎実験
東京工業大学 〇椎貝博美・台湾電力 張 煥崧
- 11.45~12.00 討議 (60)~(64)
- 12.00~13.00 昼食休憩
- 13.00~13.15 (65) 波による円柱の抗力係数および質量係数について
京都大学 土屋義人・〇山口正隆
- 13.15~13.30 (66) 岩礁上の円柱に働く波力について
運輸省港湾技術研究所 合田良実
- 13.30~13.45 (67) 発電所冷却水取水塔の水理
電力中央研究所 〇中村 宏・阿部宣行
- 13.45~14.00 (68) 海底パイプラインに作用する波力、潮力について(その2)
東海大学 〇長崎作治・日本エンジニアリング(株) 中村幸司・尾形 賢
- 14.00~14.15 (69) 浮標に働く負の揚力に関する研究(第2報)
大阪市立大学 永井荘七郎・〇倉田克彦
- 14.15~14.40 討議 (65)~(69)
- 14.40~14.50 休憩
- 14.50~15.05 (70) 抗状構造物の波浪による応答解析
大成建設(株) 〇中川隆隆・高知市三
- 15.05~15.20 (71) 柱状構造物の波力応答計算
運輸省港湾技術研究所 伊藤喜行・谷本勝利・〇小舟浩治
- 15.20~15.35 (72) 円筒形浮体と浅海波の相互作用
東京大学 堀川清司・〇渡辺 晃
- 15.35~15.50 (73) 大型タンカー接岸時の仮想質量についての基礎的研究
大成建設技術研究所 白井増次郎・中央大学 林 泰造
- 15.50~16.10 討議 (70)~(73)

5. 懇親会

- (1) 期 日: 1972年11月13日(月) 18.30~
- (2) 会 場: 国立教育会館内「グリル虎ノ門」千代田区霞ヶ関 3-2-3 TEL (580) 0698 (直通)
(地下鉄銀座線虎ノ門下車, 文部省隣り)
- (3) 会 費: 2000円
- (4) 定 員: 60名
- (5) 申込方法: 参加希望の方は氏名, 勤務先, 連絡先, 第19回海岸工学講演会懇親会参加と明記のうえ参加費を添えて現金書留で, 10月25日(水)までに土木学会海岸工学委員会宛お申込み下さい。

6. シンポジウム

- (1) 期 日: 1972年11月15日(水) 14.00~17.00
- (2) 会 場: 土木学会土木図書館講堂(国電四ツ谷駅下車, 外濠公園内)
- (3) テーマ: 波と構造物
- (4) コンビナー: 浜田徳一氏
- (5) 話題および話題提供者:
① 構造物に作用する不規則な波の解析 光易 恒氏(九州大学応用力学研究所)
② 既設海岸堤防の特性と問題点 富永正照氏(建設省四国地方建設局)
③ 大水深港湾構造物の特性と問題点 合田良実氏(運輸省港湾技術研究所)
- (6) 定 員: 150名

7. 見学会

- (1) 期 日: 1972年11月15日(水)
- (2) 見学場所: 〇首都高速の沈埋トンネル
〇京浜埠頭公園の大井コンテナ埠頭
〇東京港一巡
- (3) 集合場所: 次号参照
- (4) 申込方法: 参加費無料, ただし, 事前に下記によりお申し込み下さい。
① 申込み方法: 参加希望の方は氏名, 勤務先, 連絡先, 第19回海岸工学講演会見学会参加希望と明記のうえ, 土木学会海岸工学委員会宛(〒160 新宿区四谷1丁目)官製ハガキによりお申し込み下さい。
② 申込み期限: 1972年10月25日(水)
- (5) 定 員: 80名(満員になりしだい締切らせていただきます)

映画会開催について<於土木学会講堂>

▶ 10月14日(土)◀

1. 場 所：土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車）
2. 日 時：毎月第2土曜日 14.00～ 10月14日(土)です。
3. 上映映画：10月は「土木学会映画コンクール」審査会の都合で上映作品が未定ですので、内容を知りたい方は10月中旬に土木学会へご連絡下さい。
4. 参加費：無 料 土木関係以外の方も歓迎致します。
本映画会に関する問合せは、土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します。
共 催：土木学会関東支部

第5回「土木学会映画コンクール」作品募集

(旧称国土開発映画コンクール)

土木学会は過去4回にわたり「国土開発映画コンクール」を開催してまいりましたが、今回より「土木学会映画コンクール」と名称を改め下記要項により開催致しますので、ご応募下さいますよう、また、関係の向きにおすすめ下さいますようお願い申し上げます。

本映画コンクールも回を重ねるごとに応募作品も増え、また、質的な向上とも相まって土木技術の普及、発展に大いに寄与することができたと自負致しております。

奮ってご応募下さいますようご案内申し上げます。

「土木学会映画コンクール」募集要項

1. 内 容：土木事業または土木技術を中心としたもの
 2. 規 格：16mm カラーフィルム トークー昭和45年10月以降完成の作品に限る
 3. 締 切：昭和47年9月30日
 4. 申 込 先：社団法人土木学会編集課（東京都新宿区四谷1丁目 電話 03(351)5130）
 5. 審 査：土木学会映画審査委員会
 6. 賞 状：最優秀賞1編、優秀賞2編、準優秀賞3編、賞状ならびに賞牌
(該当作品のない場合は変更することがあります)
 7. 発表会：昭和47年12月9日(土) 土木学会土木図書館講堂
- なお、土木学会選定映画はコンクール候補作品と致しますので、再提出して頂きます。
• 応募希望者は申込先へ申込用紙をご請求下さい。

大径PC杭設計施工指針講習会開催

▶ 11月15日(水)◀

コンクリートポールパイル協会委託遠心力大径プレストレストコンクリート設計施工指針(案)の審議が終了し、近く出版することになりましたのを機会に下記により講習会を開催いたしますのでふるって参加されますようご案内いたします。

1. 期 日：1972年11月15日(水)
2. 場 所：ヤマハホール（東京都中央区銀座）
3. 参加費：1,000円
4. 主 催：土木学会
5. テキスト：遠心力大径プレストレストコンクリート設計施工指針(案)他
6. 申込方法：参加希望者は氏名、勤務先、連絡先を明記のうえ参加費を添えて土木学会事業課宛、11月5日までなるべく現金書留にてお申込下さい。
7. プログラム：

| | | | |
|-----------|------------------|---------------------------------------|--|
| 9.00～9.10 | 開会挨拶 | 土木学会プレストレストコンクリート杭設計施工指針小委員会委員長 最上 武雄 | |
| 9.10～9.50 | コンクリート部材設計の最近の動向 | 東京大学 園分 正 胤 | |

| | | | |
|-------------|---------------|------------|---------|
| 9.50~10.30 | P C 杭の製造 | 東京大学 | 松 本 嘉 司 |
| 10.30~10.40 | 休憩 | | |
| 10.40~12.00 | 杭本体および杭結合部の設計 | 首都高速道路公団 | 津 野 和 男 |
| 12.00~13.00 | 休憩 | | |
| 13.00~13.30 | 高強度P C 杭 | 日本大学 | 榎 並 昭 |
| 13.30~14.15 | 大径P C 杭の現場実験 | 建設省土木研究所 | 浅 間 達 雄 |
| 14.15~14.25 | 休憩 | | |
| 14.25~15.10 | 大径P C 杭の支持力 | 国鉄構造物設計事務所 | 池 田 俊 雄 |
| 15.10~16.00 | 大径P C 杭の施工 | 本州四国連絡橋公団 | 吉 田 巖 |

第 9 回 衛生工学研究討論会講演募集

土木学会衛生工学委員会は、下記の予定で研究討論会を実施しますので、論文提出者はお応募下さいますようご案内いたします。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1973 年 1 月末日の 2 日間
3. 場 所：東北大学
4. 論文内容：本年度は自由課題といたします。
5. 申込方法：9 月 30 日までに講演原稿を土木学会衛生工学委員会までご提出下さい。なお原稿は学会指定のオフセット原稿用紙（申込み次第送付）をご使用下さい。原稿枚数は 8 枚までとし、期限を厳守下さい。昨年と同様、討議論文 1~2 編を付して印刷いたします。特定の討議者をご希望の場合は、希望討議者氏名を同封して下さい。原則として別刷りはお断りします。
6. 申 込 先：土木学会衛生工学委員会（〒160 東京都新宿区四谷 1 丁目）
7. 採 否：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。

第 1 回 土木製図の自動化に関するシンポジウム

▶ 9 月 28 日（木）◀

趣 旨：近年コンピュータの普及と共に、土木建造物の計画・設計・施工・管理などの機械化・自動化が各方面で研究されているが、中でも、設計図の自動製図など、コンピュータの出力を図に表現させる技法が、特に注目されている。この問題は、コンピュータの知識そのもの（ハードウェア）と共に、具体的に実務に使用するための知識（ソフトウェア）を検討する必要がある。

土木製図基準改訂委員会は、この問題に関し各種の研究を行ってきたが、このたび委員会という狭い範囲に限らず、学会会員はじめ広く各方面の方々の参加のもとに研究・討議を行なう必要があると考えられたので、そのてはじめとして、このシンポジウムを開催する。

主 催：土木学会土木製図基準改訂委員会

1. 期 日：1972 年 9 月 28 日（木）
2. 会 場：大和証券ホール（東京都千代田区大手町 2 の 6 の 4）
3. 参 加 定 員：400 名
4. 参 加 費：会員 3 500 円、非会員 4 500 円（ともにテキスト代を含む）
5. 参加申込み先：〒 160 東京都新宿区四谷 1 丁目・社団法人 土木学会編集課あて
6. 話題提供者およびプログラム：

| | | | |
|-------------|------------------------|----------------------|---------|
| 9.30~9.40 | I. 開会の挨拶 | 土木製図基準改訂委員会委員長 | 菊 池 洋 一 |
| 9.40~12.00 | II. ディスプレイに使用されるハードウェア | (司会) 名古屋大学 | 島 田 静 雄 |
| | II-1 ブロックおよび図化機械 | 武蔵工業(株)システム部 | 中 川 浩 |
| | II-2 ファクシミリとその応用 | 東京芝浦電気(株)電子計算機事業部 | 安 田 純 一 |
| | II-3 CRT ならびに COM の応用 | | |
| | II-4 デジタイザー | 日商エレクトロニクス(株)営業第 1 課 | 笹 沼 俊 樹 |
| | (討 議) | 松下電器産業(株)生産技術研究所 | 小 嶋 三 郎 |
| 12.00~13.00 | 昼 食 休 憩 | | |
| 13.00~15.00 | III. ソフトウェアにおける諸問題 | (司会) 国 鉄 | 阿 部 英 彦 |
| | III-1 建設省における自動図化 | 建設省大臣官房技術参事官室 | 富 田 努 |

| | | | |
|-------------------|--------------------------|----------------|------|
| 15.10~17.00 | Ⅲ-2 日本国有鉄道における自動図化 | 日本国有鉄道構造物設計事務所 | 阿部英彦 |
| | Ⅲ-3 一般企業における自動図化 | 三菱重工業(株)生産技術部 | 米長泰 |
| | Ⅲ-4 コンサルタントにおける自動図化 | 電算共同開発会 | 河野通之 |
| | Ⅲ-5 学術研究における自動図化 (討議) | 電力中央研究所技術第二研究所 | 和田明 |
| | Ⅳ. プログラム開発上の諸問題 | (司会)東京工業大学 | 中村英夫 |
| Ⅳ-1 プログラム言語 | 青山学院大学経営工学科 | 間野治太郎 | |
| Ⅳ-2 図形処理のアルゴリズム | 東京大学土木工学科 | 中村良夫 | |
| Ⅳ-3 コンピュータグラフィックス | 東京大学生産技術研究所 | 村井俊治 | |
| Ⅳ-4 将来の動向 (討議) | 名古屋大学土木工学科 | 島田静雄 | |

“構造物の耐風性に関する第2回シンポジウム”の開催ならびに参加募集

▶ 12月4日(月)~5日(火) ◀

「構造物の耐風性に関する第2回シンポジウム」を関係学協会の共催のもとで開催し、国内の研究者ならびに技術者の研鑽と交流、および研究情報交換とあわせて相互の親睦をはかることになりました。つきましては、会員各位には下記要領によりふるってご参加下さるようご案内いたします。

共催：電気学会、土木学会、日本気象学会、日本建築学会(幹事学協会)、日本鋼構造協会

1. 開催期日：1972年12月4日(月)~5日(火)の2日間
2. 会場：気象庁講堂(東京都千代田区大手町1-7、電話(212)-8341)竹橋(東西線)下車
竹橋駅より徒歩3分
3. 参加費：2000円(論文集代を含む。ただし郵送希望の場合は送料共2350円)
4. 定員：300名
5. 参加申込要領：
 - (1) 申込方法：
 - a. B5判以下適宜用紙に「構造物の耐風性に関する第2回シンポジウム参加申込」と明記し、①参加者氏名、②勤務先および職名、③連絡先住所、④所属学協会名、⑤論文集事前入手希望の有無を必ず記載し、参加費2000円または2350円(現金書留)を添えて下記の日本建築学会(幹事学協会)にお申込み下さい。
 - b. 論文集は11月下旬に刊行の予定です。論文集を事前に入手ご希望の方は、10月31日までに送料350円を加算して2350円を送金して下さい。
 - (2) 申込期限：1972年11月20日(ただし論文集事前入手希望者は11月10日を期限とする)
 - (3) 申込先：郵便番号104 東京都中央区銀座3-2-19 日本建築学会内「構造物の耐風性に関する第2回シンポジウム」係
 - (4) その他：
 - a. 10月31日までに申込まれた方には刊行次第論文集および参加券をお送り致します。それ以外の方には参加券および論文集引換券を送付致しますので、当日ご持参のうえ受付にてお引換え下さい。
 - b. 原則として参加申込みの取消しがありましても参加費の払い戻しは致しませんのでご了承下さい。
 - c. 締切期日前でも定員になり次第申込みを締切りますからなるべく早目にお申込み下さい。
6. 懇親会：下記により懇親会を開催致しますから参加ご希望の方は会費を添えてシンポジウム参加申込みと同時に申込み下さい。ただし定員になり次第締切ります。
 - (1) 日時：12月4日(月)17時30分より
 - (2) 会場：気象庁1階食堂
 - (3) 会費：1000円
 - (4) 定員：50名

7. プログラム :

第 1 日 12 月 4 日 (月)

- 9.30~9.40 開会の辞 構造物の耐風性に関する第2回シンポジウム組織委員会委員長 仲 威 雄
司会 光 田 寧
- 9.40~10.10 特別講演-1 台風災害のオペレーションズリサーチ (予定) 気象庁 高 橋 浩一郎
10.10~10.30 (1) 竜巻と火災旋風 気象研 相 馬 清 二
10.30~10.50 (2) 国鉄北陸線の曲線部における風向風速特性 鉄道技術研 ○新井秀雄・林田千秋・西沢生一
10.50~11.10 (3) 日大習志野校舎周辺の気流 日大生産工 ○岩谷祥美・黒羽国夫・塩谷正雄
11.10~11.30 (4) 未観測地域の最大風速再現期間値の推定について 青山学院大 ○石原健二・東京電力 山岸啓利
11.30~11.50 (5) 互に相関を有する多くの強風時系列の同時シミュレーション 武蔵工大 ○星谷 勝・ヴァージニア工科大 L. Wittig・A. Sinha
- 11.50~12.50 (昼 食)
司会 牧 野 稔
- 12.50~13.10 (6) 充満断面に作用する定常空気力について 川崎重工業 船川正哉・佐岡暖也・○小川一志
13.10~13.30 (7) 鉄塔支持集合煙突に関する風力スペクトルの評価 秋田大工 色 部 誠・○薄木征三
13.30~13.50 (8) 高層建物の強風時における風圧性状について 東大工 加藤 勉・日本板硝子 川端三朗・竹中工務店○神田 順
- 13.50~14.10 (9) ガラスの耐風圧強さ計算式における風圧力について 旭硝子 三好俊二
14.10~14.30 (10) 自然風を受けたガラスの挙動について 京大防災研 石崎澁雄・建設省建築研究所 室田達郎・京大防災研○吉川祐三
- 14.30~14.50 (11) 風圧設計の一提案 早大理工 松井源吾・芝浦工大○永井亮一
14.50~15.00 休 憩
- 司会 島 田 潔
- 15.00~15.20 (12) 風洞内におけるせん断流に関する模擬実験 京大工 小西一郎・白石成人・○酒井甚一郎・竹居重男
- 15.20~15.40 (13) 二種類の気流中における風洞実験の比較 日本板硝子 白橋英憲・○川端三朗
15.40~16.00 (14) 高層ビルの周辺に生ずる強風に関する実験的研究 日大生産工 亀井 勇・丸田栄蔵・○新堀喜則
16.00~16.20 (15) 建築物周辺の気流に関する調査研究 清水建設研究所○藤井邦雄・日比一喜・金子俊幸
16.20~16.40 (16) 浜松町駅における風の調査とその対策 国鉄鉄道技術研究所 新井秀雄・土屋 尚・○岡田尚三・今井忠重
- 16.40~17.00 (17) 日本における Severe Local Storm による建造物の被害とその対策について 京大防災研 石崎澁雄・吉川祐三・○光田 寧・建設省建築研究所 室田達郎

第 2 日 12 月 5 日 (火)

司会 岡 内 功

- 9.30~10.00 特別講演-2 国際超高層建築会議について 京大防災研 石 崎 澁 雄
10.00~10.20 (18) 剥離を伴う平板に働く空気力の計算 東工大 ○日野幹雄・白砂 健
10.20~10.40 (19) 変動風による平板状建造物の応答について 徳島大工 宇都宮英彦
10.40~11.00 (20) 円柱の同期現象に関する実験的研究—特に円柱まわりの流れの状態について 京大工 白石成人・○真田早敏
- 11.00~11.20 (21) 矩形断面の捩りフラッタについて 九大応力研 ○中村泰治・溝田武人
11.20~11.40 (22) ある箱型建造物の空力弾性的特性について 九大応力研 中村泰治・溝田武人
11.40~12.40 (昼 食)
- 司会 川 村 純 男
- 12.40~13.00 (23) 正方形断面柱の変動抗揚力 東大工 伊藤 学・○宮田利雄・東大工 森光康夫
13.00~13.20 (24) 変動風による橋梁断面の動的応答特性について 京大工 小西一郎・白石成人・松本 勝・○小前 繁
- 13.20~13.40 (25) 箱型建物模型の風洞実験—強制振動法による空気力の測定— 清水建設 大塚志夫・東大工 ○齋津久一郎・清水建設研 富沢治利・東大工 大屋昭男
13.40~14.00 (26) 非定常空気力の非線型性についての考察 東大工院 森光康夫
14.00~14.20 (27) 乱流場における高層ビル振動の模型実験に関する研究 日大生産工 亀井 勇・○丸田栄蔵・川口彰久
- 14.20~14.30 休 憩
- 司会 白 石 成 人
- 14.30~14.50 (28) 強風時における高層建物の構造上の安全性と振動感覚 鹿島建設技研 小林正二
14.50~15.10 (29) 高層建物の耐風性に関する風洞実験 東大工 加藤 勉・秋山 宏・日本板硝子 川端三朗・竹中工務店○神田 順
- 15.10~15.30 (30) 高層建築に作用する動風圧について (実測解析結果と考察) 早大理工 松井源吾・芝浦工大 永井亮一・早大理工 田村幸雄・○樋口久吾
- 15.30~15.50 (31) 角柱の振動と変動風圧に関する自然風中の実験 鹿見島大 立川正夫
15.50~16.10 (32) 築堤上の車輻にあたる風 鉄道技術研究所 福地合一・○西沢生一
- 16.10~16.40 特別講演-3 海峡連絡橋の耐風設計について 建設省土木研究所 大久保忠良
16.40~16.50 閉会の辞 送電線建設技術研究会専務理事 堀 貞治

日米合同 シンポジウム **建設計画および設計のシステム化と自動化**

——コンピュータアイディッドデザイン (C.A.D.) の現状と今後の展望——

▶ 10月25日(水)～27日(金) ◀

標記のシンポジウムが土木計画システム協会主催、土木学会共催、国際産業企画協会の協力によって下記のとおり開催されますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1972年10月25日(水)～27日(金)
2. 会 場：東京商工会議所国際会議場(東京都千代田区丸の内3-2-2 電.03-211-4411)
3. 内 容：
 - <10月25日(水)>
 - 10.00～ 開会あいさつ 土木計画システム協会委員長 丸安隆和
 - 10.20～ あいさつ(開催にあたって) 土木学会会長 岡本舜三
 - 10.20～15.00 Information Systems for Planning and Management
Massachusetts Institute of Technology C.L. Miller
 - 15.10～16.40 写真情報とその処理について 東京大学 丸安隆和
 - 16.40～17.00 総合討議 (司会) 東京大学 丸安隆和
 - <10月26日(木)>
 - 10.00～15.00 Trends in Civil Engineering Software Development and Use Carnegie-Mellon University
S.J. Fennes
 - 15.10～16.40 建設省における自動設計システム 建設省 富田 努
 - 16.40～17.00 総合討議 (司会) 東京大学 村井俊治
 - <10月27日(金)>
 - 9.30～14.00 The Use of Interactive Computer Graphics in Civil Engineering
University of Colorado R.L. Schiffman
 - 14.10～16.10 国鉄における自動設計システム 国鉄 阿部英彦
 - 16.20～17.20 パネルディスカッション(土木計画におけるコンピュータの利用は今後どうあるべきか)
東京大学 丸安隆和・国鉄 西亀達夫・富田 努・阿部英彦・(司会) 東京大学 村井俊治
 - 17.20～17.30 閉会のあいさつ C.L. Miller・丸安隆和
4. 聴講料：38000円(お1人につき)昼食費、資料費含む
5. 申込先：(株)システム・インダストリー 東京都港区赤坂3-21-6(河村ビル) TEL(03)585-6456～8
6. 申込み方法その他：参加申込方法、その他詳細につきましては申込先へご連絡下さい。

ヨーロッパ建設視察団の案内

日本工学会では、下記要領によりヨーロッパ視察を実施することになったので、ご案内いたします。

記

1. 主催者：社団法人 日本工学会
2. 実施期間：1972年11月1日(水)～11月20日(月)(20日間)
3. 趣 旨：ヨーロッパ諸国では、中世の建築物と近代建築の調和をはかった新しい都市造りが行なわれているが、その状況とヨーロッパ各都市の再開発計画の視察およびミュンヘンオリンピック施設など近代建築を視察する。
4. 視 察 国：イギリス、スウェーデン、フランス、ドイツ、スイス、イタリア、ギリシャ
5. 参加人員：40名
6. 参加資格：土木学会の会員は、どなたでも参加できる。
7. 参加費用：390000円(1名)
8. 申込先：社団法人 日本工学会(〒104 東京都中央区銀座8-5-4 日本鉱業会館5階 TEL(574)6176)
9. 申込期限：1972年9月22日(金)
10. その他：資料その他詳細については、前記申込先に直接お問合せ下さい。

第19回 風に関するシンポジウム講演募集

標記シンポジウムを下記により開催致しますので講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1972年11月22日(水)9:30～
2. 会 場：気象庁講堂 東京都千代田区大手町1-7, 地下鉄(東西線)竹橋, (丸の内線)大手町下車
3. 共催学会：地震学会・土木学会・日本海洋学会・日本気象学会(幹事学会)・日本建築学会・日本航空宇宙学会・日本地理学会・日本農業気象学会・日本林学会
4. 講演申込締切期日：1972年9月30日(土)
5. 講演申込方法：題目, 講演者氏名(連名の場合は講演者に○をつける), 勤務先, スライド, 図面等の有無を明記し, 幹事学会(日本気象学会)または所属学会宛お申込下さい。
6. 講演時間：1講演15分程度です。
7. その他：シンポジウムの前刷集は作成致しませんのでご了承下さい。なお, 講演者が各自プリントのうえ, 会場にて参加者へ配布されることは差しつかえありません。終了後, 懇親会を開きますので多数御出席下さい。

第9回 自然災害科学総合シンポジウム講演募集

文部省科学研究費(自然災害特別研究)による「自然災害科学総合研究班(研究代表者 矢野勝正)」が中心となり, 下記により自然災害科学総合シンポジウムを開催いたしますので, ふるってご参加下さるよう御案内致します。

記

1. 期 日：1972年10月28日(土)～29日(日)9:00～17:00
2. 場 所：仙台市荒巻字青葉 東北大学工学部
3. 講演申込要領
 - (1) シンポジウム・テーマ：下記のテーマを取り上げますから, これに沿った論文を募集します。
 - A. 選定課題：1) 台風集中豪雨雪とその防災計画モデル, 2) 道路雪害とその対策, 3) 土砂の流出・流送とそれに伴う自然環境変化, 4) 第三紀層地すべりの予測と対策, 5) シラス地帯の災害と対策, 6) 軟弱地盤・海岸埋立地盤の震害と対策, 7) 山地丘陵地帯の開発に伴う災害の予測と対策, 8) 海岸地域の開発に伴う自然環境変化と災害
 - B. 自由課題：異常気象・強風災害・雪氷災害・河岸災害・河川災害・津波高潮・地盤災害・地震予知・地震動災害・噴火予知・農林災害・その他
 - (2) 講演論文締切：講演論文申込み：締切 1972年8月30日(水)
論文原稿提出：締切 1972年9月15日(金)
所定用紙2枚(3200字)または4枚(6400字)講演申込み用紙・原稿用紙は請求次第送付
 - (3) 申込・原稿提出：
〒980 仙台市荒巻字青葉 東北大学工学部建築学科 電話(0222)22-1800 内線3585 志智敏男

第7回 土木計画学シンポジウム課題報告公募

今回のシンポジウムはすでに実施してまいりました第1回～第6回の土木計画学シンポジウムにおける土木計画学の総合化・システム化に関する成果をふまえ, さらに新たな展開をはかる意味で「環境問題と土木計画学」を主題とするとともに, 課題報告の公募方式をとることとなりました。下記の予定および要領をご参照のうえ, ご関心をおもちの各位のご応募をお願いいたします。

土木計画学研究委員会

1. 期 日：1973年1月24日(水)～25日(木)/予定

2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 主 題：環境問題と土木計画学——環境問題における環境調査の方法——〔仮称〕
4. 課題研究募集要項：
- (1) 内容／上記主題に関連する実際プロジェクトの報告，または研究論文。ただし，未完成のものでも差し支えない。
 - (2) 申込体裁および申込先／課題・目次・内容の要旨を1200字程度にまとめ，個人名（またはチーム名：主査があれば○印を付ける），勤務先・連絡先等を明記のうえ下記あて送付のこと。但し，要旨作成にあたってはなるべく人間生活に関する広義のとらえ方，および計画と調査の関係についてふれられることが望ましい。
〒160／東京都新宿区四谷1丁目 社団法人土木学会 土木計画学研究委員会あて
 - (3) 応募申込み締切期日／1972年9月28日（木）厳守のこと。
 - (4) 講演原稿締切期日／1972年12月15日（金）
 - (5) 応募資格／会員，あるいは連名者のうち1名が会員であること。
5. その他
- (1) 応募課題の採否／土木計画学研究委員会にご一任承りたい。その結果，講演原稿については別途依頼いたします。
 - (2) 講演者打合せ会／採用された課題報告者またはチーム各位は，土木計画学研究委員会幹事会メンバーと合同で，1972年10月末および同11月中旬に開催予定の講演者打合せ会に参加をお願いいたします。
 - (3) 主題についての照会先：下記第7回土木計画学シンポジウム担当者あて直接お願いしたい。
 - 末石富太郎（京大工学部／電話 075-751-2111 番，内線 5151）
 - 中村 良夫（東大工学部／電話 03-812-2111 番，内線 6283）
 - 河村 忠男（土木学会事務局／電話 03-351-5130 番）
 - (4) プログラム・一般参加要領／本学会誌10月号以降の会告欄に掲載の予定。

第8回 岩盤力学に関するシンポジウム講演募集

第8回岩盤力学に関するシンポジウムを下記により開催いたしますので，講演ご希望の方は，ふるっご応募下さい。

1. 期 日：1973年2月
 2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
 3. 主 催：土木学会岩盤力学委員会
 4. 講演申込要項：
 - (1) 内 容：岩盤力学に関する理論，実験，測定等（ダム，トンネル，爆破等への応用例も含む）
 - (2) 講演申込期日：1972年10月30日（月）
 - (3) 申 込 先：郵便番号160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会岩盤力学委員会
 - (4) 申込要領：講演題目，講演者氏名（連名の場合は登壇者に○印をつける），勤務先，連絡先を明記のうえ400字程度の内容梗概を付けてお申し込み下さい。
 - (5) 講演原稿締切期日：1972年12月20日（水）
- 注：1. 講演時間は，1件討議を含め30分程度です。
2. 講演の採否，その他については，岩盤力学委員会にご一任下さい。
 3. 講演概要はオフセット印刷と致すため，講演者には学会所定の様式にしたがって，講演原稿を提出していただきます（1題目刷上和文4ページ〔図表，写真を含み6480字〕および英文梗概1ページ以内）。

講演会開催について

▶ 10月9日（月）◀

1. 主 催：日本金属腐食会議，電気化学協会
2. 日 時：1972年10月9日（月）14.00～16.00
3. 会 場：科学技術館サイエンスホール（東京都千代田区北の丸公園 2-1）
4. 講演者：米国 Ohio 大学 M.G. Fontana 教授
5. 演 題：“Corrosion and Corosion Control”
6. 聴講料：無料

北海道支部行事案内 (郵便番号 060 札幌市南1条西2丁目 勸銀ビル5階)
電話 011-251-7038 振替 小樽 20603)

(1) 特別講演会

▶ 9月29日(金) ◀

- 共 催：土木学会北海道支部・土質工学会北海道支部
- 日 時：1972年9月29日(金) 13.00~16.50
 - 会 場：北海道建設会館・9階大ホール 札幌市中央区北4条西3丁目 電話 <011>261-6181
 - 講演題目および講師：

| | | |
|-------------|--------------------------|------------------------|
| 13.00~ | 開会あいさつ | |
| 13.10~14.40 | 科学技術と人間 | 日本総合研究所理事・NHK解説委員 村野賢哉 |
| (10分間休憩) | | |
| 15.00~16.30 | 朝のこない夜はない—吉川英治氏におそわったこと— | 評論家 扇谷正造 |
| 16.30~ | 閉会あいさつ | |

4. 聴講無料：会員ならびに一般土木技術者の聴講を歓迎する。

(2) 土質調査法(第1回改定版)講習会

▶ 10月17日(火)~18日(水) ◀

(共催：土質工学会北海道支部)

- 日 時：1972年10月17日(火)~18日(水) 2日間
- 会 場：北海道建設会館9階大ホール(札幌市中央区北4条西3丁目 電話 261-6181)
- 受 講 料：会員 1500円・非会員 2200円
- テキスト代：会員 2500円・非会員 3300円(土質工学会発行「土質調査法」第1回改定版)
- 講習時間割：

| | | |
|-------------|------------------|-----------------------------|
| 第1日目 | | |
| 9.30~10.45 | 調査計画 | 北海道大学工学部 教授 北郷 繁 |
| 10.45~12.00 | 地盤地質調査 | 北海道開発コンサルタント(株)常務取締役 佐々木 敏雄 |
| 13.00~14.30 | 物理探査法 | 北海道開発局土木試験所地質研究室長 星野 寛 |
| 14.30~16.00 | ボーリング | 北海道開発コンサルタント(株)地質部長 城戸 欽也 |
| 第2日目 | | |
| 9.30~10.45 | サウンディング | 北海道開発局土木試験所土質研究副室長 佐々木 晴美 |
| 10.45~12.00 | サンプリング | 北海道大学工学部助教授 土岐 祥介 |
| 13.00~14.30 | 施工管理試験 | 北海道電力(株)技術研究所 副長 宮前 繁也 |
| 14.30~16.00 | 有機質土・火山灰特殊土の調査方法 | 北海道開発局土木試験所第2研究部長 河野 文弘 |
- 申込方法：受講希望者は、相応受講料およびテキスト代金を添えて ①氏名、②所属職名、③連絡先郵便番号・住所・所属電話、④会員区分、⑤連絡事項を記入のうえ1972年10月11日までに支部事務局あてお申込み下さい。おりにかえし受講券とテキスト引換券をお送りします。
- 定 員：200名
- 申込締切期日：1972年10月11日(水)

(3) 研究発表会論文集原稿募集

- 原稿の内容：土木工学・現場施工技術・工事報告文
- 申込締切：1972年9月25日(月)
- 申込要領：発表題目・発表者の所属氏名、所在電話番号をはがきで(電話申込みは不認)当支部事務局へお申込み下さい。
ただちに、支部制定の原稿用紙と執筆要領をお送りします。
- 原稿締切：1972年11月30日(木)(この期日に遅れたものは受理されないので特にご留意下さい)
- 論文集刊行方法：研究発表会論文集第29号としてタイプオフセット印刷とし発表当日の10日位前に有料配布することになっています。
- 発表会期日：1973年2月15日(木)
- 同 場 所：札幌市民会館3階5,6,7号の3会場使用
- 支部奨励賞：応募された論文は「支部奨励賞」選考の対象となります。

東北支部行事案内 (郵便番号 980 仙台市二日町 18-25・丸七ビル 3 階)
電 0222-22-8509

(1) 見学会

▶ 10月4日(水) ◀

1. 期 日: 1972 年 10 月 4 日(水) (雨天でも決行)
2. 見学先: 仙台～白石間の東北縦貫高速道路工事および蔵王エコーライン
3. 集 合: 宮城県庁前広場 8時(時間勵行)
4. 出 発: 同 上 8時 10分(山形交通バス)
5. 会 費: 500 円(予納のこと)
6. 定 員: 40 名(定員に達し次第申込み順に締切り)
7. 申 込 み: 勤務先, 連絡先, 氏名を明記のうえ, 会費 500 円をそえて支部事務局へ早目にお申込み下さい。会費の納入がない場合は正式な申込みとはいたしません。

(2) 映 画 会

▶ 10月6日(金) ◀

1. 日 時: 1972 年 10 月 6 日(金) 13.00～16.00
2. 場 所: 日産会館1階日立ファミリーセンター(仙台市青葉通り)
3. 映 画: (1) 振動の世界, 神鋼電機(株)提供(30分)
(2) 世界の都市開発・ヨーロッパ編, 鹿島建設(株)提供(35分)
(3) 海底トンネル・洞海湾の沈埋工法, 三井建設(株)提供(30分)
(4) 東京地下駅新設, 日本国有鉄道提供(45分)
(5) 主塔, 石川島播磨重工業(株)提供(25分)
4. 会 費: 無料(一般の方でも結構です。どうぞお気軽においで下さい)

(3) 技術講座予告

1. 日 時: 未定
2. 場 所: 山形市(会場未定)
3. 題目および講師: 未定
4. 会 費: 無料, 一般の方の来聴も歓迎いたします(希望者には会場においてテキストを実費頒布いたします)

(4) 技術研究発表会予告

1. 日 時: 1973 年 2 月 23 日(金) 9.00～18.00(予定)
2. 場 所: 宮城県民会館3階および6階(仙台市国分町 3-3-7)(予定)
3. 応募方法: 講演希望者は所定の申込みカードを支部事務局に請求して下さい。折返し申込みカード, 申込み要領, 所定の原稿用紙, 同記載要領, 講演要領などを送ります。
4. 申込カード締切: 1973 年 12 月 5 日限り(支部必着)
5. 原稿締切: 1973 年 1 月 20 日限り(支部必着)
6. 講演申込資格: 東北支部所属の土木学会会員に限る。

なお, プログラムの編成, 講演概要集の印刷に全く余裕がありませんので, 締切期日は厳守して下さい。期限後到着のものは受理できませんので, お含みおき下さい。

関東支部行事案内 (郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会内)
電話 03-351-4133

(1) 東北縦貫道・渡良瀬遊水池・草木ダム見学会

▶ 10月12日(木)～13日(金) ◀

今回の見学会は、現在、関東地方で実施されているビッグ・プロジェクトとして、標記の3工事をとりあげました。

東北縦貫高速自動車道は、今秋、宇都宮までの開通が予定されており、渡良瀬遊水池では、広大なサイトで堰堤、水路などの各種工事が展開されております。また、草木ダムも、コンクリートの打設が開始されようとしております。

この機会にご見学くださるよう、ご案内致します。

1. 日 時：1972年10月12日(木)～13日(金)
2. 集合場所：大宮市役所前(国電大宮駅下車、東口より徒歩5分)10時出発
3. 見学コース：大宮一岩槻一東北縦貫道(道路公団)一佐野一渡良瀬遊水池(建設省)一佐野一東北縦貫道一宇都宮一日光一半月峠有料道路(栃木県)一中禅寺湖畔(泊)一足尾一草木ダム(水資源公団)一桐生一熊谷一大宮 17時解散
4. 定 員：50名(着金順にて、定員になり次第締切ります)
5. 参加費：4500円(1泊4食、バス代を含む)
6. 申 込：参加希望者は、①氏名、年令、②所属部課名、③連絡先等を明記のうえ、会費を同封し、現金書留で関東支部あてお申し込み下さい。
7. 服 装：現場が歩けるような服装

(2) 講演と映画の会「外から見た土木技術者」

▶ 10月27日(金) ◀

土木技術者の活躍する領域がますます広くなりつつある今日、われわれは、ただ土木の分野にとじこもることなく、広く識者の意見を求めることも必要なことと思われまふ。そこで、今回の講演会は、ジャーナリズムで論陣を張っておられる阿部恂氏と、「無銘碑」など、土木技術者を題材とした小説を書いておられる曾野綾子さんのお二人をお招きして「外から見た土木技術者」と題する講演をうかがうこととしました。

また、映画は、アメリカの都市開発を社会的な面からもとらえた秀作、「世界の都市開発(アメリカ編)」を上映いたします。

1. 期 日：1972年10月27日(金)

2. 場 所：土木学会図書館講堂

3. 時 間：

| | | |
|-------------|--------------------|---------------------|
| 13.00～13.10 | 開会挨拶 | 土木学会関東支部長 水 越 達 雄 |
| 13.10～13.50 | 映画「世界の都市開発(アメリカ編)」 | |
| 13.50～14.00 | 休憩 | |
| 14.00～15.30 | 講演 | 日本経済新聞社・論説委員 阿 部 恂 |
| 15.30～17.00 | 講演 | 作 家 曾 野 綾 子 |
| 17.00～17.10 | 閉会挨拶 | 土木学会関東支部幹事長 藤 井 敏 夫 |

4. 参加費：無料

5. 申込方法：会場は約200名で満員となりますので、参加希望者は、①氏名、②所属部課名を明記のうえ、はがきで関東支部宛お申し込み下さい。

中部支部行事案内 (郵便番号 450 名古屋市中村区笹島町 1-232 近畿日本鉄道(株) 鉄道総局) 名古屋営業局施設部庶務課内 052-582-3311 電 内線 251

(1) 昭和 47 年度第 2 回見学会

▶ 9 月 29 日 (金) ◀

1. 日 時: 1972 年 9 月 29 日 (金) 9.30
2. 見学先: 名古屋市掘留下水処理場増設工事
名古屋市高速度鉄道金山町工区円型トンネル新設工事
名古屋高速 2 号堀田南工区, 石元・南野工区下部築造工事
3. 集合場所: 名古屋テレビ塔北観光バス発着場 (地下鉄「栄」下車)
4. 行 程: 9 時 40 分テレビ塔下出発 (バス) →掘留下水処理場 概況説明, 工事現場見学→高速度鉄道金山町工事現場概況説明; 映画 (昼食) →シールド工事見学→高速 2 号堀田南工事現場 概況説明 (車中) →石元・南野工事現場 概況説明, 工事現場見学→17 時テレビ塔下着 (解散)
5. 定 員: 50 名 (バス 1 台)
6. 会 費: 300 円
7. 申 込: 土木学会中部支部へ 9 月 27 日までに会費を添えてお申し込みください。

(2) 昭和 47 年度第 2 回講演会

▶ 10 月 13 日 (金) ◀

1. 日 時: 1972 年 10 月 13 日 (金) 13.00~17.00
2. 場 所: 石川県社会教育センター
金沢市本多町 3 丁目 2 番 15 号
(国鉄金沢駅前発花里団地行バス乗車「本多町」下車徒歩 2 分)
3. 演題および講演者:

| | |
|--------------------|-----------------|
| ① 石川県の土木概要について | 石川県土木部長 長谷川 五 郎 |
| ② 居住地選定動機の調査について | 金沢大学助教授 松 浦 義 満 |
| ③ 河川災害と水資源について | 金沢大学教授 高 瀬 信 忠 |
| ④ 映画 (石川県観光映画 1 本) | |
4. 定 員: 100 名
5. 会 費: 無料
6. 申 込 先: 10 月 11 日までに下記のいずれかへお申し込みください。

記

- 〒450 名古屋市中村区笹島町 1 丁目 232 番地 近畿日本鉄道株式会社 鉄道総局名古屋営業局施設部庶務課内 土木学会中部支部 TEL (052) 582-3311 内線 251
- 〒920 金沢市広坂通り 2 石川県土木部砂防課 TEL (0762) 61-1111

(3) 研究発表会論文・報文原稿募集

1. 研究発表会期日: 1973 年 2 月 2 日 (金)
2. 場 所: 信州大学工学部土木教室 (長野市)
3. 内 容: 土工学, 土木技術, 土木工事報告文など
4. 研究発表の申込み: 研究発表希望者は, 題目, 講演者氏名 (連名のときは発表者に○印), 勤務先, 連絡先等を記入のうえ, 11 月 10 日までに下記宛お申込みください。
(申込先)
〒450 名古屋市中村区笹島町 1 丁目 232 番地 近畿日本鉄道株式会社 鉄道総局名古屋営業局施設部庶務課内 土木学会中部支部
(注) 研究発表の申込みがあり次第, 研究発表概要の原稿用紙をお送りします。
5. 原稿締切: 1972 年 12 月 9 日までに必着のこと。
6. 原稿提出先: 〒380 長野市若里 500 信州大学工学部 吉田俊弥教授 TEL 長野 (0262) 26-4101

関西支部行事案内 (郵便番号 541 大阪市東区船場中央 2 丁目 2 番地 船場センタービル 4 号館) 409 号 電 06-271-6686 番 振替口座大阪 82599 番

(1) 兵庫地方講演会

▶ 11 月 10 日 (金) ◀

共 催：土木学会関西支部・兵庫県建設技術協会

1. 日 時：1972 年 11 月 10 日 (金) 10.30~16.00

2. 会 場：豊岡労働会館 電話 07962-2-4446 番
豊岡市中央町 3 番 11 号 国鉄豊岡駅より徒歩 5 分

3. 題目と講師：

| | | |
|----------------------------|-----------------|----------|
| 開 会 挨拶 | 土木学会関西支部長 | 柳 瀬 珠 郎 |
| 10.30~12.00 ①香住海岸の崖岸堤工について | 兵庫県土木部港湾課課長補佐 | ○高 編 令 一 |
| 13.00~14.30 ②軟弱地盤対策 | 兵庫県土木部浜坂土木事務所技師 | 大 坪 崇 彦 |
| 14.30~16.00 ③工程管理の考え方 | 大阪市立大学教授工学部 工博 | 三 笠 正 人 |
| 閉 会 挨拶 | (株)奥村組技術研究所 副所長 | 河原畑 良 弘 |
| | 兵庫県建設技術協会長 | |

4. 定 員：150 名

5. 聴 講：無料 来聴歓迎

(お願い) 参加希望者は参加予定人員をおまとのうえ来る 10 月 31 日 (火) までにハガキまたは電話にて土木学会関西支部 (あるいは兵庫県建設技術協会) までご一報ください。

(2) 中堅土木技術者を対象とする懇話会 (第 1 回)

▶ 10 月 17 日 (火) ◀

長スパン橋梁建設に関する懇話会

(第 3 回) 上部工設計上の問題について

1. 日 時：1972 年 10 月 17 日 (火) 13.00~16.00

2. 会 場：大阪科学技術センター 8 階小ホール 電話大阪 (06) 443-5321 番
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150m 靱公園北東角)

3. 問題点提起者および司会

| | | |
|--------|------------------------------|-----------|
| 開 会 挨拶 | 土木学会関西支部長 | 柳 瀬 珠 郎 |
| 問題点提起者 | 阪神高速道路公団南港連絡橋建設部設計課設計第一係長 | 江 見 晋 |
| | 阪神高速道路公団南港連絡橋建設部設計課設計第二係長 | 工 修 吉 川 紀 |
| 話 題 | 1. 高張力鋼を使用したときの設計の諸問題 | |
| | 2. 2 次応力度とガセットプレートの板厚決定法について | |
| | 3. その他の諸問題 | |

| | | |
|-----|----------------------|---------|
| 司 会 | 大阪大学教授工学部 工博 | 小 松 定 夫 |
| | 阪神高速道路公団南港連絡橋建設部設計課長 | 河 井 章 好 |

閉会挨拶 土木学会関西支部幹事長 後 藤 尚 男

4. 定 員：100 名

5. 参加費：無料 参加歓迎

6. 申込方法：参加希望者は参加予定人員をおまとのうえハガキまたは電話にて、来る 10 月 3 日 (火) までに土木学会関西支部へお申し込みください。

(3) May 教授特別講演会

▶ 9 月 14 日 (木) ◀

1. 日 時：1972 年 9 月 14 日 (木) 14.00~16.00

2. 会 場：大阪科学技術センター 4 階室 404 号 電話大阪 (06) 443-5321 番
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150m 靱公園北東角)

3. 題目と講師：高速道路の交通管制

カリフォルニア大学 (パークレー) 教授 Dr. Aodlf D. rMay (通訳付)

4. 定 員：100 名

5. 聴講：無料 来聴歓迎

(付) テキスト頒布について

| | | |
|--------------------------|-----------|----------|
| 水工学におけるランダム事象と最適化に関する諸問題 | 頒価 1800 円 | 送料 130 円 |
| 水理学・水文学における最近の進歩 | 〃 900 円 | 〃 160 円 |
| 土木工事における土中水の扱い方 | 〃 1800 円 | 〃 130 円 |
| 工程管理 (演習問題解答付) | 〃 1800 円 | 〃 160 円 |
| 工事の安全対策 | 〃 600 円 | 〃 130 円 |

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申込みください。

水工学に関する夏期研修会講義集・在庫一覧 あとは絶版と
なりました

●1965 B. コース
B 5・180・1500 円 (〒 140)

12. 波浪の推定に関する最近の研究/井島 13. 波浪スペクトル論とその応用/浜田 14. 漂砂論/堀川 15. 漂砂測定法/福島 16. 波圧論/光易 17. 消波構造論/尾崎 18. 北海道における海岸および港湾の諸問題/穴釜 19. 海岸保全計画論/久保島 20. 河口密度流論/柏村 21. 津波理論/室田

●1968 A. コース
B 5・206・1300 円 (〒 140)

1. 土木技術者の教育について/松尾 2. 波浪の数値予測/井島 3. 海岸計測論/光易 4. 沿岸潮汐の予知について/宮崎 5. 海岸保全/豊島 6. 特殊防波堤論/伊藤 7. 沿岸環境問題/和田 8. 河口安定論/吉高

●1971 A. コース
B 5・244・2300 円 (〒 140)

1. 流出系モデルとその解析/高棹 2. 都市化による流出変化/金丸 3. 水理システムとシミュレーション/岩佐 4. 構造物周辺の流れ/中川 5. 移動床の抵抗法則/杉尾 6. 自然水の水質/小林 7. 水質汚濁の現状/湯沢 8. 地下水 (密度流的諸問題)/嶋 9. 中国地方の河川開発計画/山本 10. 流水中における物質の移流と拡散 (特別講義)/林

●1971 B. コース
B 5・284・2900 円 (〒 170)

1. 最近の波浪理論における境界値問題の解法とその応用/井島 2. 波浪に対する構造物の動的応答/岩垣 3. 瀬戸内海の海水交換/前川 4. 波の変形 (とくに長期波の進入による港域水面の振動について)/室田 5. 海浜過程/野田 6. シーバースの設計と施工/島田・内野 7. 瀬戸内海周辺の港湾整備計画/北村 8. 波浪観測とその解析/土屋 9. 工場排煙の大気拡散理論と応用/井出 10. 津波特論 (特別講義)/岩崎

●1972 (新刊) A. コース
B 5・184・2400 円 (〒 140)

1. ダムの水理/安芸 2. 各種流出モデルの比較/木下 3. 水理学水文学におけるシステム解析/日野 4. 河道平面計画/木下 (良) 5. 治水史的にみた利根川の特長/高橋 6. 河口問題と現地調査/須賀 7. 土石流調査/奥田 8. 広域利水調査/中沢 9. 移動床流水における粗度/岸 10. 移動床流水の河庄形態/芦田

●1972 (新刊) B. コース
B 5・206・2900 円 (〒 170)

1. 非線型の波動問題/椎貝 2. 越波とはい上がり/橋本 3. 日本の高潮/宇野木 4. 最近の漂砂対策工法/佐藤 5. 沿岸海洋における拡散予測/和田 6. 沿岸付近の流れ/堀川 7. 海洋性リゾートのデザイン序説/酒匂 8. 海洋構造物の諸問題/伊藤 9. 沿岸海洋に関する水理模型実験/樋口 10. クノイド波理論の実用化 (特別講義)/岩垣